

渋谷 で マナブ

創刊号
発行 平成27年4月





目次

巻頭言	3
東京渋谷学習センター所長 酒井善則	
コラム	4
「放送大学との関わり」 市村禎二郎	
「家族研究への色々なアプローチ」 直井道子	
東京渋谷学習センター open&closeカレンダー	6
渋谷246セミナー	8
面接授業科目の追加登録について	10
研修旅行について	11
編集後記	



巻頭言

— 「渋谷でマナブ」の発行にあたって —

東京渋谷学習センター所長
酒井善則

東京渋谷学習センターはこの4月で開設3周年を迎えました。東京世田谷学習センター時代と比べると、センターの広さは大幅に減少しましたが、渋谷駅に近いという地の利のため、所属学生数は現在5000人以上で、世田谷時代と比べて大幅に増加致しました。渋谷を選んで頂いた皆様に、センターの面積が十分でないことに起因するご不便をできるだけ少なくすよう、教職員一同努力していく所存です。



放送大学は生涯教育を目的とした通信制大学で、“放送”という言葉に表されるように、情報通信技術（ICT）を駆使して、毎日通学しないでも、生涯に渡って学び、大学等の卒業資格を得られるようにすることを目的としております。その中で学習センターは面接授業、単位認定試験を実施する、あるいは対面式で各種手続き等を容易に行えるようにする等、ICTだけでは不十分な面を補うことを最大の目的としております。学習センターに来ることにより、皆様は先生方の講義、あるいは各種講演を直接聞くことができ、更には学生の皆様相互の交流の機会も生まれます。ただこれら機能は、センタースペースの十分でない渋谷では、他センターに比べて十分でない面も多いと思いますが、それでも多くの学生の方々に渋谷を選んで頂いているのは、渋谷という街の活気のお蔭と思っており、東京渋谷学習センターは渋谷に生かされているセンターだと認識しております。

私自身は情報通信の技術者出身で、40年近くNTT研究所、東京工業大学でICTの研究に従事して参りました。ICT分野では最近、社会課題解決型の技術開発という言葉が使われております。災害、高齢化、多くの課題をICTを使ってどう解決するかという視点で技術開発を進めるべきであるということです。高齢化時代の教育、学習も当然この課題の一つです。昨年幕張メッセで600名の方の参加のもと、社会におけるICTの役割を中心としたシンポジウムを開催致しましたが、ここでも教育は重要なテーマでした。学習センター所長の立場を生かして、ICTでできること、ICTでは出来ないことをきちんと分けて考えていきたいと考えております。

今回初めて東京渋谷学習センターで機関紙を発行致します。ICTがいくら進んでも、センターから皆様に各種情報を直接お伝えすることは重要なことです。また、情報を多くの方に伝える一番確実な手段は、やはり歴史の長い紙媒体です。この機関紙には単なる情報だけではなく、客員の先生方の専門に基づいたご意見も掲載致します。できるだけ多くの方に渋谷学習センターの状況をお分かり頂けるよう、心をこめて作りますので、ご活用頂ければ幸いです。

放送大学との 関わり

市村 禎二郎

東京工業大学名誉教授



放送大学との関わりは1988年に遡る。当時、放送大学化学担当教授の平川暁子先生から化学教育を充実させるのを手伝ってほしい、具体的にはTV教材と面接授業の作成依頼だった。私は東工大で化学教育に携わっており、放送大学の通信教育に興味があり引き受けた。それ以来現在まで続けている関わりを振り返ってみよう。

1989年、TV放送教材『基礎化学』の改訂に取り組んだ。この授業科目は放送大学生が初めて化学を学ぶ基礎科目だったので、どうすれば放送大学生が楽しく化学を学ぶことができるか、平川先生と共同で議論・検討した。1994年3月にTV放送教材ビデオ『基礎化学』を制作し、同時に印刷教材『基礎化学(改訂)』、平川暁子、市村禎二郎著、放送大学教育振興会(日本放送出版協会)を刊行した。同年4月にTV放映が始まり、この番組を見た受講生や教育関係者などからの声に耳を傾けた。受講生の一部から“化学を学ぶのは難しい”という声もあった。そこで教材を再改定する際に、演示実験やコンピュータ動画を増やすなど、よりわかり易い放送教材『基礎化学'98』と印刷教材『基礎化学(新版)』を1998年3月に制作・刊行した。8年間に及ぶテレビ放映の間、学会などで会った他大学の先生や東工大の学生などから“テレビに出ている”となんども言われ、テレビの影響力が大きいことに驚いた。

また1989年に「自然の理解」分野(現「自

然と環境」コース)の面接授業を充実させるため、「実験基礎化学」(基礎化学実験ではない)の実験テーマとして「みょうばんの結晶」、「デュマの蒸気密度法によるエタノールの分子量の測定」や「メチルオレンジの合成」の補助教材ビデオを新規作成し、面接授業の講師も引き受けた。その後、集中型面接授業を開始することになり、備品として吸光度計を購入し、受講生が合成したメチルオレンジ色素や赤キャベツから抽出したアントシアニン色素の吸収スペクトルを測定し、目に見える色と吸収される光の色(波長)との関係を考える面接授業「実験化学I・II」を作った。そして2006年には「光と色の実験化学」を開始した。当時、実験室が整備されていない学習センターもあり、実験授業は受講生に好評を博し、わざわざ京都から受講に来た人もいた。

講義主体の面接授業「環境の科学」を2006年に始めたら、「環境」に関わるいろいろな分野の受講生が履修して、毎回講義室は定員でいっぱいになった。

なお、2001年に東京第一学習センターは東京世田谷学習センターになり、2012年に東京渋谷学習センターに移転したので、秋鹿研一先生と共同で「机の上で分子を作り性質を考える」という演習科目を開始し、現在に至っている。

長い間、たいへんお世話になりました。この場を借りてお礼を申し上げます。

(H24~26年度 東京渋谷学習センター客員教授)

家族研究への 色々なアプローチ

直井道子

桜美林大学特任教授



私は、「高齢者と家族」についての研究をしている。「家族」というのは、ほとんどの人がその中で育ち、自分なりの「家族観」を持っているような対象だ。いわば「誰でも知っている」ことのようにも見えるらしく、かつて、理科系の研究者の方から「家族が研究の対象になるのですか？」と聞かれたこともある。

たしかに、家族の研究はなかなか複雑で、どのような視点から家族をとらえるのかで、色々なアプローチがある。そもそも家族とは何人かの家族員が集まった集団を指しているのだろうか？「あなたのおばあさんはあなたの家族ですか？」と聞くと、5-6割しか家族だと答えない。一方、孫は家族かと聞くと85%が家族だと答える。答えの中には「同居していれば家族」などという条件付きもある。しかし、親から見ると別居していても子どもは家族だという答えがほとんどだ。さらに、人々はめったに「兄弟のうちAは家族だがBはちがう」とは答えない。すなわち、兄弟というカテゴリーを手掛かりにして家族かどうかを判断しているらしい¹⁾。このようなアプローチは家族認知論と呼ばれる。

このような「対象のあいまいさ」に加えて、家族そのものが時代とともに大きな変化を遂げてきた。日本では第二次世界大戦の敗戦によって家制度は廃止され、高度経済成長によって農村から都市に移住して、否応なく都市的な家族を形成する人が増えた。現在の高齢者世代はこのような変化の影響を

どのように受け止めながら、その家族を形成してきたのだろうか？このような見方はライフコース論と呼ばれ、家族の時代的变化の分析に有効である。

今日では、家族を集団としてとらえるよりは、ひとつのネットワークとしてとらえることが多い。たとえば一人暮らしの高齢の親を支えるのに、一緒に住む、住まないにかかわらず、子どもたちがそれぞれ可能な支援をする。さらにそれでも足りない部分はホームヘルパーなどの専門家や急な場合には近所の人までがそのネットワークに加わる。そのような場合にそれぞれがどのような原理で役割分担をしているのか？家族はもしかするとコーディネーターの役割もしているのか？…といった研究が進んでいる。見方によっては「家族」という枠組みは融解してしまって、個人化した見方が広がってきたともいえる。

このように社会科学では、対象が明確でなかったり、変化したりする上に、研究者(学習者)自身もその変化の中にあることがある。そこに、自然科学とはちがった(と言い切っていないかどうかよくわからないが)社会科学の難しさもあるが、面白さもあると考えている。多種多様な科目が用意されている放送大学では、このような分野によるちがいにも目を向けて味わってほしいと考えている。

注1) 藤見純子 家族ってなんだろう？ 藤見純子・西野理子 編「現代日本人の家族」有斐閣 2009

東京渋谷学習センター open & close カレンダー

開館時間は都合により
変更することがあります。

☆：夜間面接授業あり。

開館時間と窓口・図書視聴学習室のご利用
時間が異なります。ご注意ください。

事務室窓口 & 図書視聴学習室		
利用時間	open	close
火～金	10:00	～ 18:30
土・日	9:30	～ 18:00
閉所日	月曜日・祝・祭日 学長またはセンター所長が定めた日	

5月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
				open 10:00 close 18:30	open 9:30 close 18:00	× 憲法記念日
				開館 9:00～18:30	開館 9:00～18:00	
4	5	6	7	8	9	10
× 閉所日	× こどもの日	× 振替休日	open 10:00 close 18:30	open 9:30 close 18:00	open 9:30 close 18:00	
			開館 9:00～18:30	開館 9:00～18:00	開館 9:00～18:00	
11	12	13	14	15	16	17
× 閉所日		open 10:00 close 18:30		open 9:30 close 18:00	open 9:30 close 18:00	
		開館 9:00～18:30		開館 9:00～18:00	開館 9:00～18:00	
18	19	20	☆21☆	☆22☆	23	24
× 閉所日		open 10:00 close 18:30	open 9:30 close 18:00	open 9:30 close 18:00	open 9:30 close 18:00	
		開館 9:00～18:30	開館 9:00～21:00	開館 9:00～18:00	開館 9:00～18:00	
25	☆26☆	☆27☆	☆28☆	29	30	31
× 閉所日		open 10:00 close 18:30	open 9:30 close 18:00	open 9:30 close 18:00	open 9:30 close 18:00	
		開館 9:00～21:00	開館 9:00～18:30	開館 9:00～18:00	開館 9:00～18:00	

4月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
		open 10:00 close 18:30			9:30～11:30 16:00～18:00 ★入学者の 集い	open 9:30 close 18:00
		開館 9:00～18:30			開館 9:00～18:00	
6	7	8	9	10	11	12
× 閉所日		open 10:00 close 18:30			open 9:30 close 18:00	
		開館 9:00～18:30			開館 9:00～18:00	
13	14	15	16	17	18	19
× 閉所日	× 臨時閉所日	open 10:00 close 18:30			open 9:30 close 18:00	
		開館 9:00～18:30			開館 9:00～18:00	
20	21	22	23	24	25	26
× 閉所日		open 10:00 close 18:30			open 9:30 close 18:00	
		開館 9:00～18:30			開館 9:00～18:00	
27	28	29	30			
× 閉所日	open 10:00 close 18:30	× 昭和の日	open 10:00 close 18:30			
	開館 9:00～18:30		開館 9:00～18:30			

★4/4は入学者の集いの為、窓口は11:30～16:00の間ご利用できません。
図書視聴学習室は、ご利用できます。

6月

月	火	水	木	金	土	日
1	☆2☆	☆3☆	☆4☆	☆5☆	6	7
× 閉所日		open 10:00 close 18:30			open 9:30 close 18:00	
		開館 9:00～21:00			開館 9:00～18:00	
8	9	10	☆11☆	12	13	14
× 閉所日		open 10:00 close 18:30			open 9:30 close 18:00	
		開館 9:00～18:30	開館 9:00～21:00	開館 9:00～18:30	開館 9:00～18:00	
15	16	☆17☆	☆18☆	☆19☆	20	21
× 閉所日		open 10:00 close 18:30			open 9:30 close 18:00	
		開館 9:00～18:30	開館 9:00～21:00	開館 9:00～18:30	開館 9:00～18:00	
22	23	☆24☆	☆25☆	26	27	28
× 閉所日		open 10:00 close 18:30			open 9:30 close 18:00	
		開館 9:00～18:30	開館 9:00～21:00	開館 9:00～18:30	開館 9:00～18:00	
29	☆30☆					
× 閉所日	open 10:00 close 18:30					
	開館 9:00～21:00					

7月

月	火	水	木	金	土	日
		☆1☆	☆2☆	☆3☆	4	5
		open 10:00 close 18:30			open 9:30 close 18:00	
		開館 9:00~21:00			開館 9:00~18:00	
6	☆7☆	☆8☆	☆9☆	10	11	12
×	open 10:00 close 18:30			open 9:30 close 18:00		
×	開館 9:00~21:00			開館 9:00~18:30	開館 9:00~18:00	
13	14	☆15☆	16	17	18	19
×	open 10:00 close 18:30			open 9:30 close 18:00		
×	開館 9:00~18:30	開館 9:00~21:00	開館 9:00~18:30		開館 9:00~18:00	
20	21	☆22☆	23	24	25	26
×	open 10:00 close 18:30			事務室 open9:00-close18:30 図書視聴学習室 open9:30-close18:30		
×	開館 9:00~18:30	開館 9:00~21:00	開館 9:00~18:30	開館 8:30~19:00		
27	28	29	30	31		
×	事務室 open9:00-close18:30 図書視聴学習室 open9:30-close18:30			×		
×	開館 8:30~19:00			× 学長が 定めた日		

7月24日～8月2日 単位認定試験期間

8月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
					事務室 open9:00-close18:30 図書視聴学習室 open9:30-close18:30	
					開館 8:30~19:00	
3	4	5	6	7	8	9
×	×	×	open 10:00 close 18:30		open 9:30 close 18:00	
×	×	×	開館 9:00~18:30		開館 9:00~18:00	
10	11	12	13	14	15	16
×	×	×	×	open 10:00 close 18:30	open 9:30 close 18:00	
×	×	×	×	開館 9:00~18:30	開館 9:00~18:00	
17	18	19	20	21	22	23
×	open 10:00 close 18:30			open 9:30 close 18:00		
×	開館 9:00~18:30			開館 9:00~18:00		
24/31	25	26	27	28	29	30
×	open 10:00 close 18:30			open 9:30 close 18:00		
×	開館 9:00~18:30			開館 9:00~18:00		

7月24日～8月2日 単位認定試験期間

9月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
	open 10:00 close 18:30			open 9:30 close 18:00		
	開館 9:00~18:30			開館 9:00~18:00		
7	8	9	10	11	12	13
×	open 10:00 close 18:30			open 9:30 close 18:00		
×	開館 9:00~18:30			開館 9:00~18:00		
14	15	16	17	18	19	20
×	open 10:00 close 18:30			open 9:30 close 18:00		
×	開館 9:00~18:30			開館 9:00~18:00		
21	22	23	24	25	26	27
×	×	×	open 10:00 close 18:30	open 9:30 close 18:00	9:30~11:30 16:00~18:00 ★学位記 授与式	
×	×	×	開館 9:00~18:30		開館 9:00~18:00	
28	29	30				
×	×	open 10:00 close 18:30				
×	×	開館 9:00~18:30				

★9/27は学位記授与式の為、窓口は11:30~16:00の間ご利用できません。
図書視聴学習室は、ご利用できます。

最新情報は、東京渋谷学習センター又はホームページにてご確認ください。

☎03-5428-3011

ホームページ

<http://www.campus.ouj.ac.jp/~shibuya/>



渋谷246セミナー

ご入学おめでとうございます。東京渋谷学習センターは、施設は狭いのですが、5000人を超える学生が所属しており、平成27年度は、12人の客員教員が学習をサポートします。しかし、テレビ・ラジオを中心に学ぶ放送大学の学生は、なかなか教員と接する機会がありません。そこで、平成25年度から各教員の専門分野をご紹介しますミニ講義「渋谷246セミナー」を開催しています。今年度も、東京都市大学の協力を得て、さらに多くの学生の皆様が参加しやすい日時で実施する予定です。いずれも、初学者にもわかりやすいよう工夫された内容です。
”渋谷でまなぶ”楽しさを感じていただければ幸いです。



平成27年4月
東京渋谷学習センター所長 酒井善則



阿保 順子

北海道医療大学 特任教授
専門：看護学



大杉 麻美

明海大学 教授
専門：民法



渋谷 一彦

東京工業大学 名誉教授
専門：化学、物理化学



鈴木 孝弘

東洋大学 教授
専門：環境学、環境経済、データサイエンス



鈴木 浩

日本経済大学 教授
専門：電気工学、エネルギー工学



橋本 秀雄

金沢大学 名誉教授
専門：電気通信、信号処理



船橋 恵子

静岡大学 名誉教授
専門：社会学



三村 優美子

青山学院大学 教授
専門：マーケティング、流通



山口 勸

放送大学 客員教授
専門：実験社会心理学



小林 亜樹

工学院大学 准教授
専門：メディア情報学、通信・ネットワーク工学



山本 史華

東京都市大学 准教授
専門：哲学・倫理学



秋鹿 研一

東京工業大学 名誉教授
専門：触媒、化学プロセス・環境保全

渋谷246セミナー予定表(事前申込み制)

日程、申込方法の詳細は、決まり次第センターに掲示、または東京渋谷学習センターのホームページ(<http://www.campus.ouj.ac.jp/~shibuya/>)でお知らせします。

なお、下記は4月現在の年間予定です。やむをえず中止等もごさいますのでご了承ください。

会場は原則として、東京渋谷学習センター講義室または東京都市大学サテライトクラス(地下1階)です。



日時	講師	テーマ・概要
5月10日(日) 14:00～16:00 会場：地下一階	客員教授 阿保 順子	「認知症をめぐる問題群」 認知症の背景には、少子高齢化のほかに自己責任と効率主義といった新自由主義社会の抱える問題、人間の存在様式に関する考え方、老人医療や福祉政策、老いの社会的位置づけの変化、時代の空気や経済などによる人々の心理的变化など、さまざまな問題群がひしめきあっている。今回は、この背景を構成している認知症をめぐる問題群をズームし、一つの時代の変化を表すメタファーとしての「認知症」を浮かび上がらせる。
6月14日(日) 14:00～16:00 会場：地下一階	客員准教授 山本 史華	「ポスト3.11の倫理 低線量被曝と放射性廃棄物を考える」 3.11から4年以上の歳月が経ちました。その間、私たちは3.11から何を学んできたのでしょうか。ポスト3.11の社会が、ブレ3.11と同じような社会であり続けるならば、またいつか同じ被害が繰り返されるだけです。ポスト3.11にふさわしい倫理とは何か、ともに考えてみましょう。
8月29日(土) 14:00～16:00	客員教授 秋鹿 研一	サイエンスカフェ「科学・技術記事を読み解く」 講師が1～2つの記事を用意し、その時々話題、疑問を参加者と対話しながら考える。場合によっては専門家にも参加してもらい、議論を深めたい。
9月5日(土) 14:00～16:00	所長 酒井 善則	「情報通信と社会」 電話からIoT(モノのインターネット)まで、情報通信は社会を大きく変えようとしています。ここでは、情報通信産業は何を目指しているのか、国の政策として何が行われているのか等を、私たちの暮らしへの影響を考えながら議論します。
9月12日(土) 14:00～16:00	客員教授 鈴木 孝弘	「日本人の平均寿命と血液型との関係」 最近、血液型と病気との関係が分ってきた。日本人の寿命は、どのような要因と最も関係があるか、特に血液型について最新の研究成果を解説します。
10月以降を予定	客員教授 大杉 麻美	「家族の介護は報われるか～相続にみる家族介護のいま」 老親介護を法律問題として考えると、扶養と相続の問題を避けて通ることはできません。本セミナーでは、家族間介護をどのように考えたらよいのか、それは相続とどのように結びついているのか、法律の視点から考えてみたいと思います。
10月以降を予定	客員教授 渋谷 一彦	「地球大気の世界」 2015年末に、国連気候変動枠組条約の「第21回締約国会議(COP21)」がフランス・パリで開催されます。このCOP21の会議では、2020年以降の世界の気候変動・温暖化対策の大枠が合意される予定です。この機会に、地球大気の世界を学び、現在起きているオゾン層破壊・地球温暖化・気候変動等の地球が発する異常信号を科学的に読み解き、COP21の締結が今後の地球環境に及ぼす影響(利益と不利益)を考える機会にしたいと思います。
10月以降を予定	客員教授 鈴木 浩	「暮らしの中の電気を考える」 我々の暮らしの中で電気は欠かせないエネルギーである一方、エネルギーを取り巻く環境がこれまでと大きく変化してきています。電気の上手な使い方、電気はどこからどのようにして運ばれてくるのか、新しい家電製品が省エネルギーになっているか、新しく発見されたエネルギー源の夢についてなど、幅広くお話しします。
10月以降を予定	客員教授 橋本 秀雄	「画像データの圧縮と伝送」
10月以降を予定	客員教授 船橋 恵子	「子育ての比較社会学」 次世代を産み育てることは持続可能な社会の基本ですが、育児をめぐる文化や制度は社会によって大きく違います。子育ての国際比較調査に基づいて、日本の子育ての特徴を見ていきましょう。そして、仕事も育児も両立可能な日本社会にしていく道と共に考えましょう。
10月以降を予定	客員教授 三村 優美子	「生活者の時代のマーケティングと流通」 高齢化や生活価値観の変化を背景として日本のマーケティングと流通は大きく変化しています。特に、知識や経験が豊富で主体的に行動する「生活者」を前提とするとき、ブランド、情報提供、売場づくり、顧客対応などでどのような課題や新しい可能性があるのかをお話しします。
10月以降を予定	客員教授 山口 勸	「社会心理学の楽しみ」 実証的な社会心理学におけるいくつかの知見をもとに、現実の生活にどのように生かしたらよいかを考える。
10月以降を予定	客員准教授 小林 亜樹	「社会とつながり情報通信」 身近になった情報通信技術。しかし、その仕組みは意外と知られていません。人と人をつなぐ技術の一端を紹介し、最近の情報通信技術と絡んだ話題についてお話しします。

平成27年度第1学期

面接授業科目の 追加登録について

科目登録状況により定員に満たなかった面接授業科目については、その科目を開設している学習センターで追加登録を受け付けます。

平成27年度第1学期は、4月17日(金)12時から、空席状況を各学習センターでの掲示、キャンパス・ネットワーク・ホームページでお知らせします。4月24日(金)15時以降はシステムWAKABAで空席状況をリアルタイムで確認することができます。

なお、科目登録方法は、その面接授業を開設している学習センターにより異なります。
具体的な受付方法については、それぞれの学習センターにお問い合わせください。

東京渋谷学習センター開設科目の 追加登録の方法は次のとおりです

〔受付初日〕 4月24日(金) 窓口申請のみ !!

- ① 午前10時00分までに追加登録抽選会場に入室した方を対象に、登録する順番を決める抽選を行います。

10時に抽選会場の入口の鍵がかかります。

抽選を希望する方は10時までに会場にお入りください。

間に合わなかった場合は、抽選が終わった後に申請できるようになります。

- ② 抽選結果順に、学習センターの窓口面接授業科目追加登録申請書を提出し、授業料をその場で納入していただきます。
- ③ 登録時には「学生証」が必要になりますので、必ず持参してください。

〔受付2日目以降〕

受付2日目からは、窓口申請だけでなく、郵送による申請も受け付けます。

郵送される方は、①面接授業科目追加登録申請書、②所定の授業料、③学生証のコピー、④返信用封筒(宛先を記載し、82円切手を貼付)の4点すべてを同封の上、現金書留によりお送りください。

申請は、科目ごとに定められた受付期限日までとなります。

期限内に郵便が届かなかった場合、申請した科目がすでに満席の場合、登録内容に不備がある場合は返送にかかる費用を差し引いた金額をお返しいたします。ご了承ください。

研修旅行の参加者募集!

平成27年9月11日(金)

※バスで移動します。



行き先

海洋研究開発機構 (JAMSTEC)

・海洋科学技術館 (横須賀本部)



海洋科学技術館(横須賀本部)

「しんかい6500」の実物大模型や、めずらしい深海生物をご覧いただけます。

有人潜水調査船「しんかい6500」

有人潜水調査船「しんかい6500」は、深度6,500mまで潜ることができる潜水調査船です。1989年に完成し、日本近海に限らず、太平洋、大西洋、インド洋等で、海底の地形や地質、深海生物の等の調査を行い、日本のみならず世界の深海調査研究を担う重要な役割を果たしています。

1 開催日

平成27年9月11日(金)

2 募集人数

35名(先着)

3 行程

12:30 東京渋谷学習センター集合(時間厳守)
17:30 // 解散

4 参加費

無料(学生証を必ず持参して下さい。)

5 飲み物

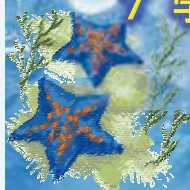
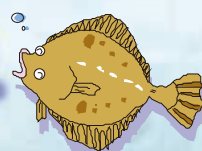
各自で持参して下さい(昼食の時間は設けません)。

6 参加教職員

酒井所長、客員教員、事務担当者

7 学生教育研究災害傷害保険

(任意保険、100円)にご加入下さい。
(各学習センター窓口で、9月10日までに手続きを!)



申込期間 8月7日(金)10:00 ~ 8月25日(火)18:30 まで

申込先

放送大学東京渋谷学習センター

窓口または電話(03-5428-3011)でお申し込みください

放送大学

東京渋谷学習センター

住 所 東京都渋谷区道玄坂1-10-7 五島育英会ビル1階

電話番号 03-5428-3011

交通案内 JR渋谷西口から徒歩5分

利用可能路線：J R (山手線／埼京線／湘南新宿ライン)
東京メトロ (半蔵門線／副都心線／銀座線)
東急 (東横線／田園都市線)
京王井の頭線

国道246号線沿いです。歩道からは「東京都市大学」の看板が目印になります。
セブンイレブンの横です。

学習センターには、駐車場・駐輪場はありません。公共交通機関を利用してください。



編集後記

春爛漫の季節となりました。皆様も新学期を迎えて新しい気持ちでいらっしゃると思います。東京渋谷学習センターも機関誌『渋谷でマナブ』を創刊し、初めて皆様のお手元にお届けすることとなりました。『渋谷でマナブ』では、毎号、学習センター客員教員の先生方のコラムと学生の皆様にお知らせしたいことを掲載し、4月と10月に発行してまいります。今号では、平成27年3月末でセンターの客員教授を退任される市村先生、直井先生にコラムをお願いいたしました。いかがでしたでしょうか。創刊にあたっては、様々な方々のご協力を賜りました。この場を借りまして深く感謝申し上げます。歩き出したばかりの『渋谷でマナブ』ですが、皆様とともに成長していきたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。(R)